マルチクライアント方式

サマリー

調 査 報 告 書

［２０２２年版　感光体マーケット総覧］

『基幹部品としての重要度を 堅持する感光体市場の展望』

＝依然として存在感を示し続けるキー部品＝

＜キヤノンやリコーをはじめとする純正メーカーは 2020 年の大幅減から 2021 年は反動増を記録＞
上記画像　キヤノンプレシジョン(会社 HP より)、リコー沼津事業所 北プラント(Google より)

＜中国国有系企業の HG Technologies は生産量を急拡大＞
上記画像　HG 社提供

２０２２年２月

日・中・米・欧の市場調査
株式会社 データ・サプライ

〈調査概要〉

Ⅰ．調査テーマ

［２０２２年版　感光体マーケット総覧］

『基幹部品としての重要度を堅持する感光体市場の展望』

＝依然として存在感を示し続けるキー部品＝

Ⅱ．調査主旨

欧米を中心に新型コロナの変異株がかつてない規模の感染爆発を引き起こしている。一時はワクチン接種率の高まりにより 2022 年中にパンデミックは収束に向かうとの期待も高まっていたが、現在も変異株の感染は収まっておらず、流行収束を見通せない状況が続いている。

オフィスプリンティング市場は新型コロナの収束如何に関わらず、成熟が進むとの見方が強いが、このような状況下で MFP・プリンタ業界の次の目標もある程度明確になってきた。すなわち働く場所が従来の集約型オフィスから自宅での在宅勤務やサテライトオフィスなどの分散型オフィスへと一気に拡大するなか、これら様々なワークプレイスの印刷ニーズに対応していくことが各社の基本戦略となる。実際、米 HP などは在宅プリント向けにセキュリティと消耗品を定額で提供するサブスクリプションビジネスを強化しており、新時代の働き方に対応したサービス提供の準備を着々と進めている。

また、コロナ禍以前のオフィスプリンティング業界は「A3MFP への印刷の集約」がトレンドとなっていたが、上記の通り、ポストコロナでは在宅勤務など多様な働き方に対応すべく「A4 プリンタへの印刷の分散」へとトレンドが変化する兆しがみられる。A3MFP への印刷の集約は感光体のロングライフ化と相まって感光体の出荷本数を減少させる要因となっていたが、A4 プリンタへの印刷の分散は感光体市場の減少スピードを緩和させる可能性がある。中国市場の動きも目が離せない。同市場における MFP やプリンタ市場の成長率はここ数年鈍化しているが、ポテンシャル的には未だ大きな伸びしろが残されているとみる向きも強い。ローエンドプリンタ市場でシェアを急拡大させている奔図（Pantum）や 2021 年に同市場へ新規参入した華為（HUAWEI）など資金力と開発力を併せ持つ現地メーカーも揃ってきた。

新時代への移行期を迎え、感光体メーカーの生き残り競争もすでに始まっている。いまや感光体需要全体の 95%以上を日本と中国企業が生産しているが、近い将来、日本や中国からも淘汰される企業が出てくるだろう。ただ、感光体という部品は印刷物の画質に直結するキー部品であり、その重要度はこれからも変わらない。全体需要が頭打ちとなるなか、これまで以上に品質とコストを両立できる総合力を持ったメーカーに需要は集中していく。

「2022 年版感光体マーケット総覧」は、シリーズ第 32 回目の刊行となります。感光体メーカーのみならず、素管メーカー、材料メーカーを幅広くリサーチしていきます。本レポートをご利用いただく関係各位におかれましては、事業再発展の一助となることを望みます。

Ⅲ．調査対象品目及び調査対象先

１．調査対象品目

１）感光体

- ＯＰＣ感光体
- Ｓｅ系感光体
- ａ－Ｓｉ感光体

２）感光体アルミ素管　　３）塗布材料

２．調査対象先

１）感光体メーカー（国内 9 社、海外 20 社）　２）感光体素管の押出・引抜・切削メーカー（国内 9 社、海外 6 社）

３）感光体塗布材料メーカー（CTL/CGL/UCL/OCL）（国内 11 社、海外 4 社）

４）ハードメーカー（複写機メーカー9 社、プリンタメーカー17 社）

Ⅳ．調査範囲及び調査方法

１．調査範囲：調査対象範囲は、２０１９年～２０２５年とする。また、対象範囲は日本、北米、欧州、韓国、台湾、中国、その他地域とする。

２．調査方法：１）取材対象メーカーへの直接訪問面接調査　２）公開されている文献、資料、統計等の分析及び調査　３）弊社に蓄積されているデータの活用

Ⅴ．調査形態、調査期間、他

１．調査形態：本調査はマルチクライアント方式による調査である。

２．調査期間：２０２２年１月～２月

３．調査報告刊行日：２０２２年２月２５日

４．提出報告書：Ａ４判ワープロ製本

５．１社当りの参加費用：日本文版 …… ￥５００,０００－（消費税は別途）（英文版 …… ＄５,２００－）

６．調査担当：山本　幸男／吉田　晃介／針生　正史

（TEL：03-3831-9201、FAX：03-3831-9204、E-mail：yamamoto@datasupply.jp、yoshida@datasupply.jp、hariu@datasupply.jp）　ホームページ：http//:www.datasupply.jp/

《目　次》

[調査結果の要旨]
Ａ．分析編
Ａ－１．全世界での感光体生産動向 …… 1
１．日本/海外メーカー別全体生産量・生産金額推移（２０１９年～２０２５年） …… 1
２．国別のメーカー生産量推移（２０１９年～２０２５年） …… 2
３．全世界の種類別用途別生産量推移(２０１９年～２０２５年) …… 3
４．出荷用途別（ハード本体出荷用/サプライ用）感光体生産量（２０１９年～２０２５年） …… 5
１）全体／２）サードパーティ比率(2020 年～2022 年)
５．世界のベスト 10(生産量シェア) (2020 年～2022 年) …… 7
１）全体／２）OEM 向け生産量シェア／３）サードパーティ向け生産量シェア
６．全世界の生産量 …… １０
１）地域別種類別生産量／２）地域別用途別生産量／３）メーカー別生産量／
４）地域別メーカー別生産量／５）地域別種類別生産量／６）地域別用途別生産量
７．OEM とサードパーティの生産量 …… ２６
７－１．ワールドワイド(2021 年) …… ２６
７－２．メーカー別 OEM 量とサードパーティ量(2020 年～2022 年) …… ２７
８．感光体用素管の生産動向 …… ３１
９．日本メーカー各社の塗布材料使用状況 …… ３２
Ａ－２．感光体の生産拠点 …… ３３
１．日本メーカーの地域別生産拠点 …… ３３
１）全体／２）工場・住所一覧
２．海外メーカーの生産拠点一覧 …… ３６

Ｂ．感光体市場編
Ｂ－１．日本メーカーの動向（２０１９年～２０２５年） …… ３９
Ｂ－１－１．日本メーカーの集計 …… ３９
１．日本メーカーの種類別用途別生産量 …… ３９
１）生産本数/生産金額の推移（２０１９年～２０２５年）／
２）種類別/用途別生産本数の推移（２０１９年～２０２５年）／３）25 年間の生産量推移
２．種類別地域別メーカー別用途別生産量（２０１９年～２０２５年） …… ４５
１）全種類／２）ＯＰＣ／３）Ｓｅ系／４）ａ－Ｓｉ
３．直径別用途別種類別生産量（２０２１年） …… ５３
４．直径別メーカー別生産量及び出荷金額（２０２１年） …… ５４
１）全体数量（ＰＰ・ＰＰＣ用ＯＰＣ／ＰＰ・ＰＰＣ用ａ－Ｓｉ／プリンタ・FAX 用ＯＰＣ／
プリンタ・FAX 用Ｓｅ系／プリンタ・FAX 用ａ－Ｓｉ）／２）金額
５．メーカー別直径別生産数量及び出荷金額構成比（２０２１年） …… ６１
６．直径別メーカー別生産数量及び出荷金額の状況（２０２１年） …… ６５
１）２０φ／２）２４φ／３）３０φ／４）４０φ／５）４７φ／６）５０φ／７）６０φ／８）６５φ／
９）８０φ／10）８４φ／11）１００φ／12）１２０φ／13）１８０φ／14）２１０φ／15）２４０φ／
16）２６０φ
７．長さ別メーカー別生産量（２０２１年） …… ８１
１）生産量／２）出荷金額
８．直径別長さ別生産数量及び出荷金額（２０２１年） …… ８３
１）生産量／２）出荷金額／３）長さ別直径別数量及び金額構成比（Ａ４～Ａ０）
９．日本メーカーの感光体の用途別種類別地域別生産状況（２０２０年～２０２２年） …… ９０
10．ロングライフ感光体（Ａ３）の開発動向 …… ９１
11．負帯電/正帯電別生産量（２０２１年） …… ９１
12．ハードメーカーと感光体メーカーの主要供給関係（２０２１年） …… ９２
１）納入量／２）PP・PPCCメーカーと感光体メーカーの主要供給関係
３）レーザー／ＬＥＤプリンタ・FAX メーカーと感光体メーカーの主要供給関係

Ｂ－１－２．日本の感光体メーカー個票 …… ９５

■共通調査項目■
全体生産量・生産金額（２０１９年～２０２５年予測）
・地域別拠点別種類別用途別生産量（国内･海外）の現状と今後（２０１９年～２０２５年予測）　・生産拠点の動向（設備投資、製造ラインの増減と今後の拠点）　・直径別用途別生産量　・直径別長さ別生産量と生産金額、単価（２０２１年実績）
・直径別長さ別製品ラインアップ状況　・正帯電／負帯電別生産量　・ロングライフ感光体の開発と今後　・外注／外販の拡大戦略　・小径化／大径化の状況　・塗布層と塗布材料（ＵＣＬ、ＣＧＬ、ＣＴＬ、ＯＣＬ）の現状と開発及び購入状況
・塗布方法　・純正メーカーのサードパーティ製感光体への対応策　・純正品（ＯＥＭ）とサードパーティ製品の生産比率
・供給先別納入量（２０２０年～２０２２年見込）　・ワールドワイドの生産拠点一覧　・25 年のあゆみ（2001～2021 年実績、2022～2025 年予測）

キヤノン ／リコー（山梨電子工業） ／ 富士フイルムビジネスイノベーション ／ コニカミノルタ ／ 京セラグループ（京セラ/京セラドキュメントソリューションズ） ／ 三菱ケミカル ／ 富士電機 ／ シャープ

Ｂ－２．海外メーカーの動向（２０１９年～２０２５年） …… １９１
Ｂ－２－１．海外メーカーの集計 …… １９１
１．海外メーカーの種類別用途別生産量 …… １９１
２．中国メーカーの感光体生産量 …… １９３
３．国別の感光体生産量の成長率 …… １９４
Ｂ－２－２．海外の感光体メーカー個票 …… １９５

APS Photoconductor (Shanghai)（中国）／Guangzhou A&G Optoelectronics Technology（中国）／HG Technologies（中国）／Huaian Gantech Opto-Electronics（中国）／Lexmark International（米国）／Sindoh（韓国）／Suzhou Goldengreen Technologies（中国）／Xerox Corporation（米国）／その他メーカー（米国１社、中国６社、韓国２社、香港１社、インド１社、バングラデシュ１社）

Ｃ．感光体素管市場編
Ⅰ．全体動向 …… ２２１
１．感光体業界（素管、伸管、加工、塗布）のエントリー概要 …… ２２１
１）工程別参入動向 …… ２２１
２）アルミ素管メーカーと加工メーカーの主要取引関係 …… ２２２
３）アルミ素管メーカーから塗布メーカー（感光体メーカー）への供給関係 …… ２２３
（全体概要／アルミ素管メーカーと感光体メーカーの主要動向図）
２．全世界での感光体素管生産量（２０１９年～２０２５年） …… ２２６
３．日本の感光体素管メーカー別生産量推移（２０１９年～２０２５年） …… ２２７
４．素管メーカー別直径別長さ別生産量 …… ２２８
５．感光体メーカーへの供給量（２０２１年） …… ２２９
１）全体／２）ＯＰＣ／３）Ｓｅ、ａ－Ｓｉ

Ⅱ．感光体素管メーカーの個別動向 …… ２３２

■共通調査項目■
地域別（拠点別）生産量（国内・海外）
・種類別／直径別（２０φ～２６０φ）／用途別／長さ別（Ａ４～Ａ０）生産量　・無切削／切削管の生産量
・感光体メーカーの生産拠点別納入量一覧（全世界）　・カラー用感光体への対応策（振れ、真円度、表面粗度、他）
・加工／伸管メーカーとの関係　・生産技術動向（切削管、無切削管）　・価格動向、採算性　・生産拠点の現状と今後

昭和電工／UACJ 押出加工／日軽金アクト

Ｄ．塗布材料市場編
１．全体概要 …… ２４７
２．ＣＴＬ …… ２４８
２－１．バインダー樹脂：１）全世界の市場（２０１９年～２０２３年）（全体概要／参入メーカー／材料別特徴／価格）／２）バインダー樹脂の主要供給関係（国内）
２－２．ＣＴＭ：１）全世界の市場（２０２１年）／２）メーカーシェア（内製メーカーの出荷量／ＣＴＭメーカーの出荷量）／３）ＣＴＭの種類／４）ＣＴＭの主要供給関係
３．ＣＧＬ …… ２５３
３－１．バインダー樹脂／３－２．ＣＧＭ
４．ＵＣＬ …… ２５３
５．ＯＣＬ …… ２５４

Ｅ．感光体別直径別機種一覧（２０１８年～２０２２年）
１．ＰＰＣの感光体別機種一覧 …… ２５５
２．レーザー／ＬＥＤプリンタの感光体別機種一覧 …… ２６３
３．レーザー／ＬＥＤＦＡＸの感光体別機種一覧 …… ２７１
４．プロダクションプリンタの感光体別機種一覧 …… ２７２

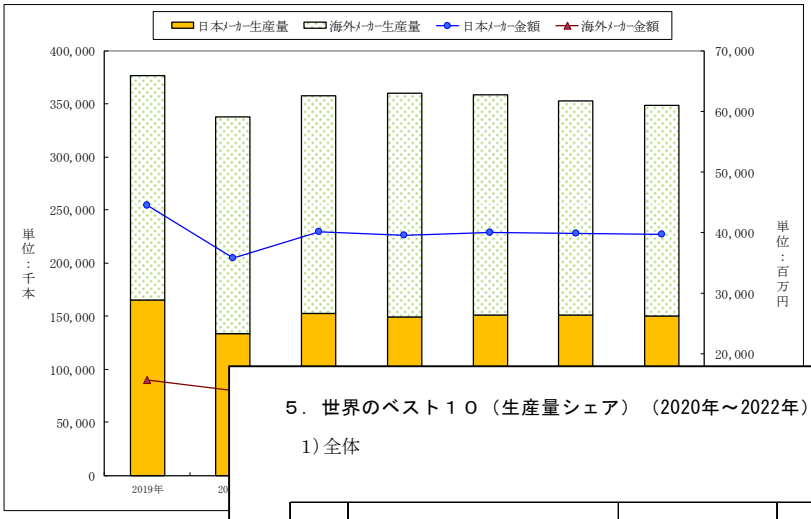
サンプルページ

「分析編」より抜粋

A．分析編

A－1．全世界での感光体生産動向

1．日本／海外メーカー別全体生産量・生産金額推移（2019年～2025年）



＜生産量＞

	2019年	%	
日本ﾒｰｶｰ生産量	164,777	43.7	13
対前年比	－		
海外ﾒｰｶｰ生産量	211,900	56.3	20
対前年比	－		
合計	376,677	100.0	33
対前年比	－		

＜生産金額＞

	2019年	%	
日本ﾒｰｶｰ金額	44,538	74.0	3
対前年比	－		
海外ﾒｰｶｰ金額	15,670	26.0	1
対前年比	－		
合計	60,208	100.0	4
対前年比	－		

2021年における全世界の感光体生
大幅に増加した。前年にコロナ影響に
回復。ただし、半導体などの部材不足
とどまった海外メーカーはほぼ前年並
2022年も日本メーカーについては部
である。海外メーカーはその大半を占
メーカー全体でも増加を達成すると見
感光体市場の中長期的見通しについ
務の拡大・定着によるオフィスプリント
離型カートリッジのシェア拡大による感
外メーカーともに淘汰が進んでいく可

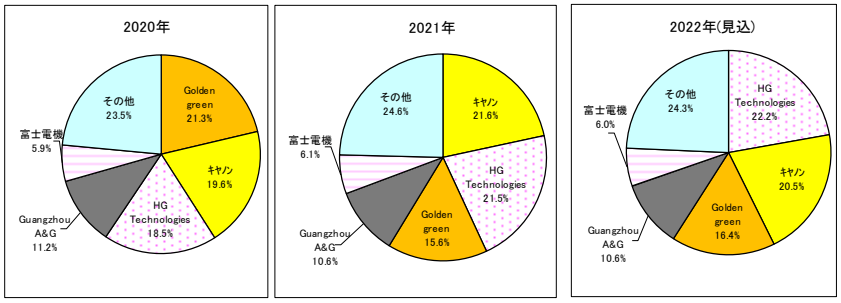
5．世界のベスト１０（生産量シェア）（2020年～2022年）

1）全体

単位：%

順位		2020年	2021年	2022年(見込)
1	キヤノン	19.6	21.6	20.5
2	HG Technologies（中国）	18.5	21.5	22.2
3	Goldengreen（中国）	21.3	15.6	16.4
4	Guangzhou A&G Optoelectronics Technology（中国）	11.2	10.6	10.6
5	富士電機	5.9	6.1	6.0
6	Huaian Gantech Opto-Electronics（中国）	4.9	5.2	4.9
7	京セラグループ	4.9	4.7	4.8
8	三菱ケミカル	4.1	4.6	4.6
9	リコー	2.1	2.2	2.0
10	富士フイルムビジネスイノベーション	1.8	2.0	1.9
－	その他	5.7	5.9	6.1
	合計	100.0	100.0	100.0

※順位は2021年実績



2021年の生産量シェアでは、キヤノンが全体の21.6%でトップシェア。2～4位は中国メーカーが占め、5位は富士電機となった。中国勢では、HG TechnologiesとGoldengreenのシェア争いが激化しているが、国有企業であるHGがやや優勢となってきた。

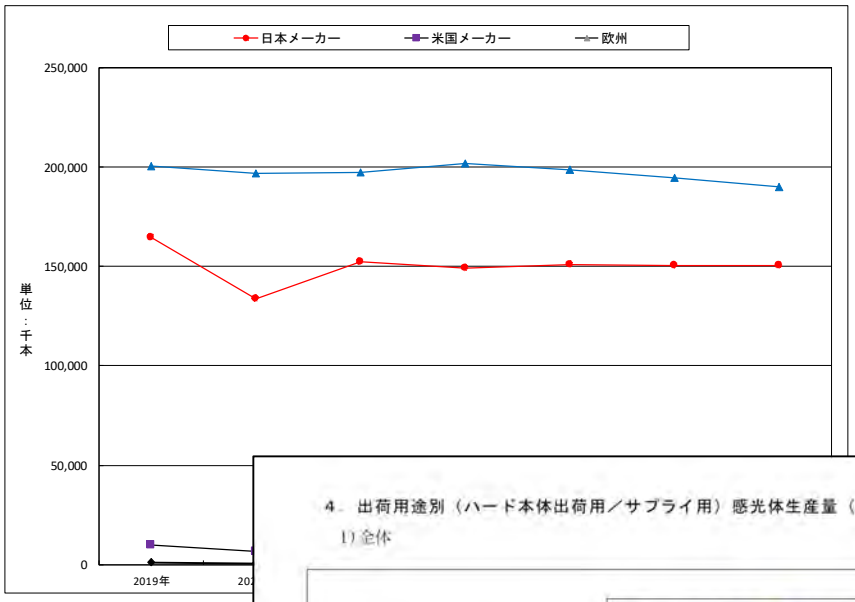
注：京セラグループ：京セラと京セラドキュメントソリューションズの合計

サンプルページ

「分析編」より抜粋

※実際のレポートには実数やコメントが入っています。

2．国別のメーカー生産量推移（2019年～2025年）



年		2019年	%	202
日本メーカー		164,777	43.7	133,85
	対前年比	-		81.
海外メーカー	米国	10,000	2.7	6,70
	対前年比	-		67.
	中国	200,700	53.3	196,74
	対前年比	-		98.
	韓国/他	1,200	0.3	62
	対前年比	-		51.
	小計	211,900	56.3	204,06
	対前年比	-		96.
合計		376,677	100.0	337,91
	対前年比	-		89.

感光体市場における国別生産量比率は
なっている。残りは米国メーカー（Xeroxと
あった韓国メーカーはほぼ淘汰（小規模な
ない。

日本メーカーと中国メーカーは、前者が
的にこの構図は変わらないが、近年は中国
へのOEM向けに中国感光体メーカーの生

4．出荷用途別（ハード本体出荷用／サプライ用）感光体生産量（2019年～2025年）

1）全体

単位：千本

年		2019年	%	2020年	%	2021年	%	2022年(見込)	%	2023年(予測)	%	2024年(予測)	%	2025年(予測)	%
ハード本体出荷用															
	対前年比														
サプライ用															
	対前年比														
合計															
	対前年比														

※ハード本体出荷用の本数については、弊社「2021年版MFPマーケット総覧」より換算

2021年における出荷用途別の感光体生産量は、「ハード本体出荷用」が対前年比**********、「サプライ用」が同**********。同年は反動増による大幅増が期待されていたが、半導体などの部材不足による影響を受けて特に「ハード本体出荷用」の需要が停滞したことで、当初の想定よりも低い伸び率となった。

2022年以降は、「ハード本体出荷用」については在宅勤務用のローエンドプリンタ向けなどで大幅増が期待されており、コロナ前（2019年）の水準を超えてくる可能性が高い。一方、「サプライ用」はオフィスプリントの需要頭打ちや長寿命感光体の拡大などにより横ばいから微減していく見通しである。

サンプルページ

「感光体市場編」より抜粋

4．直径別メーカー別生産量及び出荷金額（2021年）

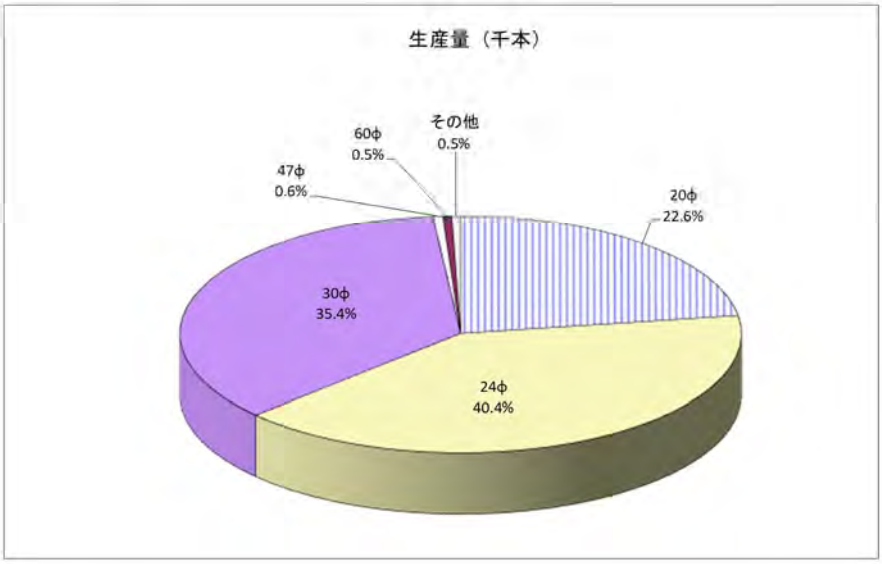
1）全体数量

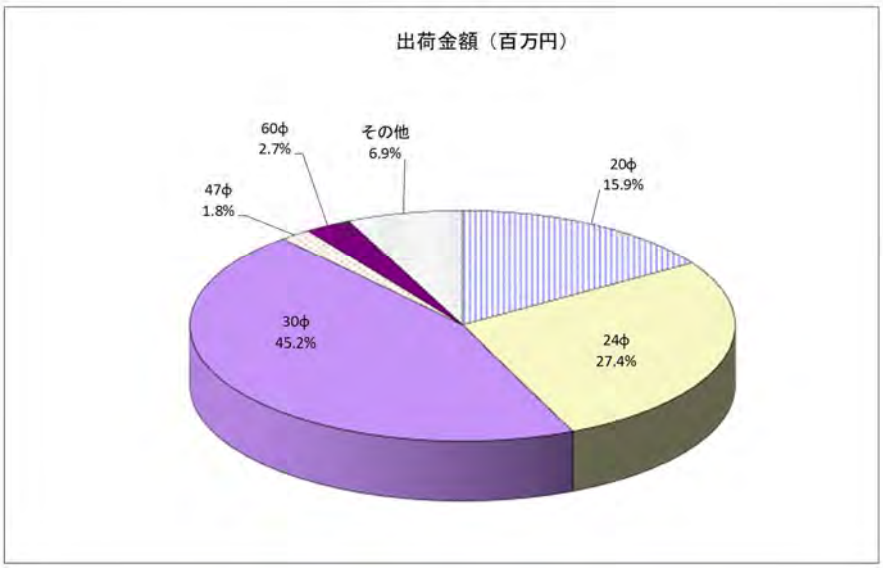
（単位：千本）

感光体メーカー	キヤノン	リコー	富士フイルムビジネスイノベーション	コニカミノルタ	京セラ	京セラドキュメントソリューションズ	三菱ケミカル	富士電機	シャープ	計	%
20φ											
24φ											
30φ											
40φ											
47φ											
50φ											
60φ											
65φ											
80φ											
84φ											
100φ											
120φ											
180φ											
210φ											
240φ											
260φ											
計											
%											

5．メーカー別直径別生産数量及び出荷金額構成比（2021年）

［全メーカー］

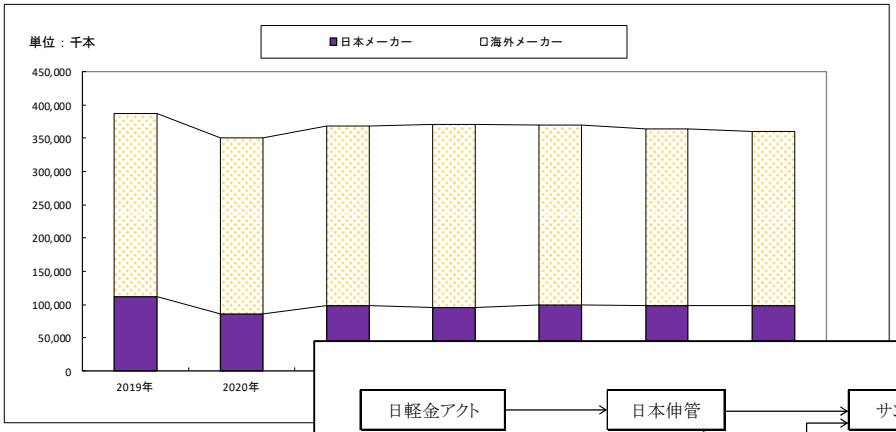




サンプルページ

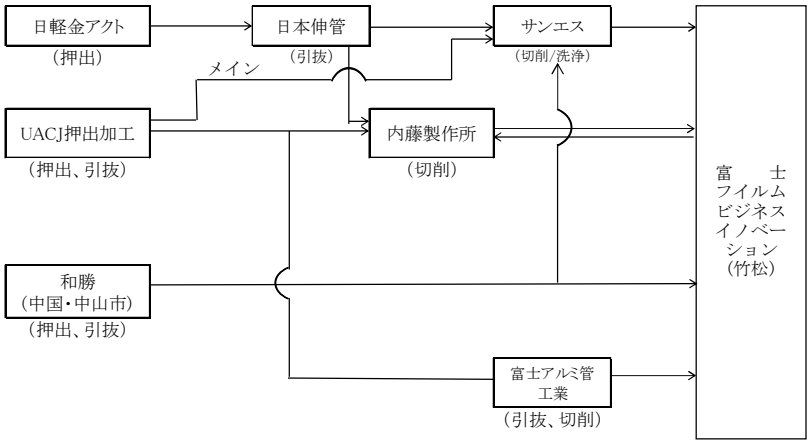
「感光体素管市場編」より抜粋

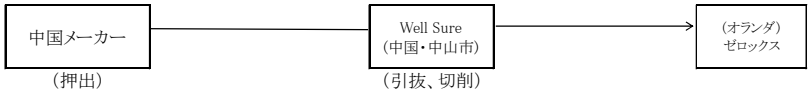
2．全世界での感光体素管生産量（2019年～2025年）

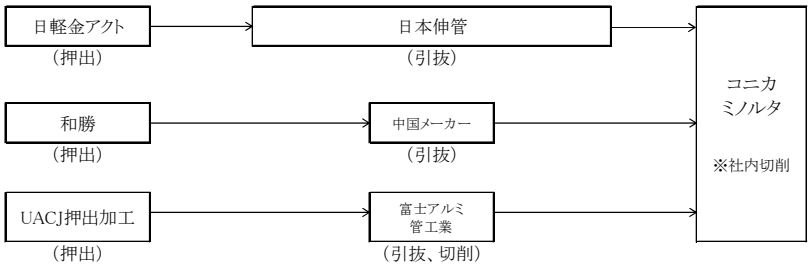


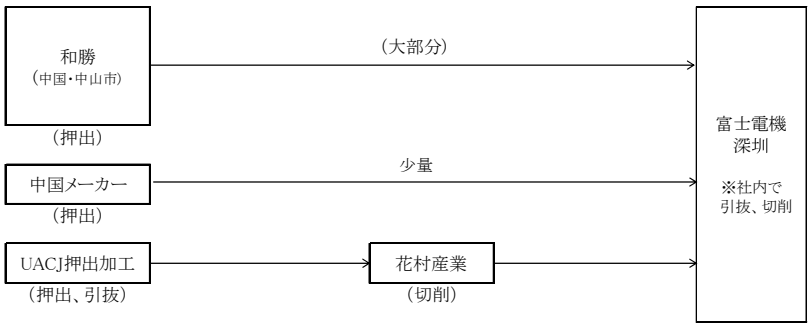
メーカー		2019年	%	2020年	%
日本メーカー		111,343	28.7	85,390	24
	%	-		76.7	
海外メーカー		276,657	71.3	264,610	75
	%	-		95.6	
合計		388,000	100.0	350,000	100
	%	-		90.2	

2021年の感光体素管の生産量は対前年比105.4
ほか、海外メーカーも微増した。
2022年以降は感光体市場全体が頭打ちとなる









サンプルページ

「塗布材料市場編」と「感光体別直径別機種一覧」より抜粋

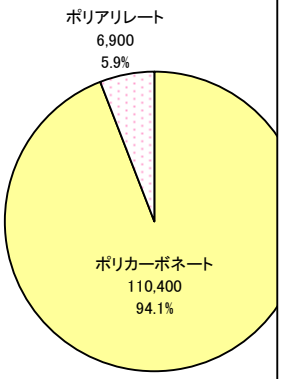
2．ＣＴＬ（Charge Transport Layer：電荷輸送層）

２－１．バインダー樹脂

１）全世界の市場（2019 年～2023 年）

単位:kg

	2019年		2020年		2021年		2022年(見込)		2023年(予測)	
		%		%		%		%		%
三菱ガス化学										
対前年比										
帝人										
対前年比										
出光興産										
対前年比										
三菱ケミカル										
対前年比										
その他										
対前年比										
ポリカーボネート合計										
対前年比										
ユニチカ										
対前年比										
ポリアリレート合計										
対前年比										
合計										
対前年比										



＜材料比率（2021 年）＞

（１）全体概要

ポリカーボネートとポリア

2021 年の出荷量は対前年比 1

（全体の約 94%）、ポリアリ

ポリカーボネートは日本の

委託して中国メーカーに供給。

も少量の生産を続けている。

２．レーザー／ＬＥＤプリンタの感光体別機種一覧（２０１８年～２０２２年）

１）キヤノン

感光体	機種名	発売年	月	価格(万円)	出力サイズ	スピード(cpm)カラー(A4)	スピード(cpm)モノクロ(A4)	解像度(dpi)	トナー製法	トナー成分	感光体直径(mmφ)	感光体耐久(千枚)	感光体極性	寸法 W×D×H(mm)	重量(kg)	備考
OPC[2]	Satera MF521dw	2018	04	8.98	A4	－	43	600×600	懸濁重合	1	24	10～20	⊖	494×464×452	約20.0	2016年5月発売の「同511dw」(8.98万円前後/40ppm)の後継機。
OPC[2]	LBP162/161	2019	05	オープン	A4	－	28	2,400相当	懸濁重合	1	24	23	⊖	371×404×225	約7.0	2014年発売の「LBP6240/6230」(14.7発売、1.68万円/1.48万円、25ppm)の後継機。従来のトナーカートリッジではなく、両者を分離した新方式のトナーカートリッジを搭載。
OPC[2]	Satera LBP853Ci	2019	05	31.80	A3	46	46	9,600相当	懸濁重合	非1	30	7～16.5	⊖	556×608×403	約38.0	2016年5月発売の「Satera LBP843Ci」(20.8万円、31ppm)の後継機。
OPC[2]	Satera LBP852Ci/851C	2019	05	21.80/16.80	A3	36	36	9,600相当	懸濁重合	非1	30	7～16.5	⊖	556×608×403	約38.0	2016年5月発売の「Satera 842C/841C」(オープン価格、26～31ppm)の後継機。
OPC[2]	Satera MF745Cdw/743Cdw/741Cdw	2019	05	9.48/7.68/7.18	A4	27	27	600×600	懸濁重合	非1	20	2～6.3	⊖	471×469×460/471×469×460/451×469×460	約26.5	2017年4月発売の「Satera MF735Cdw/733Cdw/731Cdw」(7.18～9.48万円、C・Mとも27ppm)の後継機。
OPC[2]	Satera LBP664C/662C/661C	2019	05	9.8/8.28/6.18	A4	27	27	600×600	懸濁重合	非1	20	2～6.3	⊖	476×469×379 437×469×313 437×469×313	約19.0/約18.5/約18.5	2017年4月発売の「Satera LBP654C/652C/651C」(6.18～9.8万円、C・Mとも27ppm)の後継機。
OPC[2]	Satera MF644Cdw/642Cdw	2019	05	5.98/5.48	A4	21	21	600×600	懸濁重合	非1	20	2～6.3	⊖	451×460×413	約22.5	2017年4月発売の「Satera MF634Cdw/632Cdw」(オープン価格、C・Mとも18ppm)の後継機。
OPC[2]	Satera LBP622C	2019	05	4.78	A4	21	21	600×600	懸濁重合	非1	20	2～6.3	⊖	430×418×287	約14.0	2017年4月発売の「Satera LBP612C」(4.78万円、C・Mとも18ppm)の後継機。
OPC[2]	Satera LBP621C	2019	05	2.38	A4	18	18	600×600	懸濁重合	非1	20	2～6.3	⊖	430×418×287	約12.8	2017年4月発売の「Satera LBP611C」(4.28万円、C・Mとも18ppm)の後継機。
OPC[2]	Satera LBP322i/Satera LBP321	2019	10	7.98/6.48	A4	－	43	2,400相当	懸濁重合	1	24	10～20	⊖	409×376×275	約11.5	2016～2018年に発売したA4モノクロ中速レーザーの機種の後継モデル。
OPC[2]	Satera LBP224	2019	10	オープン	A4	－	38	2,400相当	懸濁重合	1	24	10～20	⊖	399×373×250	約8.8	2016～2018年に発売したA4モノクロ中速レーザーの機種の後継モデル。
OPC[2]	Satera LBP221	2019	10	オープン	A4	－	33	2,400相当	懸濁重合	1	24	10～20	⊖	399×373×250	約8.8	2016～2018年に発売したA4モノクロ中速レーザーの機種の後継モデル。
OPC[2]	MF541dw	2019	12	オープン	A4	－	43	600×600	懸濁重合	1	24	10～20	⊖	494×464×452	約20.0	2016～2018年に発売したA4モノクロ中速レーザーの機種の後継モデル。
OPC[2]	MF447dw	2019	12	オープン	A4	－	38	600×600	懸濁重合	1	24	10～20	⊖	453×464×392	約16.5	2016～2018年に発売したA4モノクロ中速レーザーの機種の後継モデル。
OPC[2]	Satera MF7525F	2019	12	79.00	A3	－	25	独取:600×600 書込:1,200×1,200	粉砕	1	30	140	⊖	586×713×912	75.6	2016年12月発売の「同 MF7455DN/MF7430D」(84/72万円、25ppm)の後継機。上位モデルのiR-ADVと共通の複写機エンジンを搭載。
OPC[2]	Satera MF269dw/MF266dn/MF265dw/MF264dw/MF262dw	2020	06	オープン	A4	－	28	600×600	懸濁重合	1	24	3	⊖	MF262dw:390×405×327 MF262dw以外:390×405×375	269dw:約38 262dw:約13.3 266dn/265dw/264dw:約29	2016年9月発売の「Satera MF249dw/MF245dw/MF236n/MF244dw/MF242dw」(42,800円/33,800円/29,800円/23,800円/19,800円、23～27ppm)の後継機。新方式のカートリッジ搭載。
OPC[2]	PlotWave 3000 Printerモデル	2020	12	164.00	A0	－	2.3(A0)	600×1,200	粉砕	2	n/a	n/a	⊖	1,563×803×1,503	220.0	旧オセのエンジンを搭載。2016年5月発売の「同345」の後継機。
OPC[2]	PlotWave 3000 MFPモデル	2020	12	224.00	A0	－	2.3(A0)	600×1,200	粉砕	2	n/a	n/a	⊖	1,563×803×1,503	220.0	旧オセのエンジンを搭載。2016年5月発売の「同345」の後継機。
OPC[2]	PlotWave 3500 Printerモデル	2020	12	184.00	A0	－	3.1(A0)	600×1,200	粉砕	2	n/a	n/a	⊖	1,563×803×1,503	220.0	旧オセのエンジンを搭載。2016年5月発売の「同365」の後継機。
OPC[2]	PlotWave 3500 MFP	2020	12	244.00	A0	－	3.1(A0)	600×1,200	粉砕	2	n/a	n/a	⊖	1,563×803×1,503	220.0	旧オセのエンジンを搭載。2016年5月発売の「同365」の後継機。
OPC[2]	PlotWave 7500 Printerモデル 4ロール1カセット仕様/6ロール1カセット仕様	2020	12	560.00/620.00	A0	－	5(A0)	600×1,200	粉砕	2	n/a	n/a	⊖	1,563×803×1,695	286.0	旧オセのエンジンを搭載。2016年5月発売の「同550」の後継機。
OPC[2]	PlotWave 7500 MFP 4ロール1カセット仕様/6ロール1カセット仕様	2020	12	600.00/660.00	A0	－	5(A0)	600×1,200	粉砕	2	n/a	n/a	⊖	1,563×803×1,695	286.0	旧オセのエンジンを搭載。2016年5月発売の「同550」の後継機。
OPC[2]	PlotWave 5500 Printerモデル 2ロール1カセット仕様/4ロール1カセット仕様	2021	09	500.00/540.00	A0	－	5(A0)	600×1,200	粉砕	2	n/a	n/a	⊖	1,560×803×1,515	2ロールモデル:234.0	PlotWave 450/550シリーズの後継機種。製造業や建築業で必要な高精細図面の高精度プリント需要に対応した製品。
OPC[2]	PlotWave 5500 MFPモデル 2ロール1カセット仕様/4ロール1カセット仕様	2021	09	560.00/600.00	A0	－	5(A0)	600×1,200	粉砕	2	n/a	n/a	⊖	1,560×803×1,515		PlotWave 450/550シリーズの後継機種。製造業や建築業で必要な高精細図面の高精度プリント需要に対応した製品。
OPC[2]	PlotWave 5000 Printerモデル 2ロール1カセット仕様/4ロール1カセット仕様	2021	09	400.00/440.00	A0	－	4(A0)	600×1,200	粉砕	2	n/a	n/a	⊖	1,560×803×1,515	2ロールモデル:234.0	PlotWave 450/550シリーズの後継機種。製造業や建築業で必要な高精細図面の高精度プリント需要に対応した製品。
OPC[2]	PlotWave 5000 MFPモデル 2ロール1カセット仕様/4ロール1カセット仕様	2021	09	460.00/500.00	A0	－	4(A0)	600×1,200	粉砕	2	n/a	n/a	⊖	1,560×803×1,515		PlotWave 450/550シリーズの後継機種。製造業や建築業で必要な高精細図面の高精度プリント需要に対応した製品。
OPC[2]	Satera LBP961Ci	2021	12	オープン価格(実勢価格49,800円)	A3	60	60	2,400相当	粉砕	2	30	黒:408 カラー:363	⊖	620×718×806	約88.0	2015年5月発売の「同LBP9950Ci」(46.8万円、カラー51・モノクロ55ppm)の後継機。
OPC[2]	Satera LBP722Ci	2021	12	オープン価格(実勢価格158,000円)	A4	38	38	9,600相当	懸濁重合	非1	20	10～14	⊖	458×464×388	約25.0	2016年7月発売の「同LBP712Ci」(14.8万円、カラー・モノクロとも38ppm)の後継機。
OPC[2]	Satera MF832Cdw	2021	12	オープン価格(実勢価格188,000円)	A4	38	38	9,600相当	懸濁重合	非1	20	10～14	⊖	500×556×640	約37.0	Sateraシリーズとしては、初の30ppm台A4カラーMFP。Mid-ハイレンジのA4主力及びA3機のサブマシンとして位置付けられる。
OPC[2]	Satera MF656Cdw/Satera MF654Cdw	2021	12	オープン価格(実勢価格62,800円/57,800円)	A4	21	21	9,600相当	懸濁重合	非1	20	2～3	⊖	451×460×413	約20.5	2019年5月発売の「同MF644 Cdw /642Cdw」(5.98/5.48万円、カラー・モノクロとも21ppm)の後継機。
OPC[2]	Satera MF551dw	2021	12	オープン価格(実勢価格94,800円)	A4	－	43	2,400相当	懸濁重合	1	24	10～20	⊖	494×464×452	約19.0	2019年12月発売の「同MF541dw」(オープン、43ppm)の後継機。
OPC[2]	Satera MF457dw	2021	12	オープン価格(実勢価格62,800円)	A4	－	38	2,400相当	懸濁重合	1	24	10～20	⊖	453×464×392	約16.2	2019年12月発売の「同MF447dw」(オープン、38ppm)の後継機。

株式会社データ･サプライ刊行物案内／申込書

刊行日・価格の変更があります

住所：〒１１０－０００５　東京都台東区上野６－６－１　舶来堂ビル５Ｆ
ＴＥＬ：０３（３８３１）９２０１、ＦＡＸ：０３（３８３１）９２０４
E-mail：yamamoto@datasupply.jp、yoshida@datasupply.jp、hariu@datasupply.jp
ホームページ：http//:www.datasupply.jp/

● 以下の枠内にご記入いただき、下表のご希望の調査資料に希望部数、金額をご記入ください。最短で翌日（部数、地域による）に到着するように発送いたします。

● 申込はメール、ＦＡＸ、郵送のいずれでも可能です。申込と同時に現物と請求書を発送させていただきます。尚、発刊日前の申込につきましては、申込時に半金の請求をし、発刊日に残金（現物とも）の請求をさせていただきます。

申し込み日　2022 年　　月　　日

御社名

御住所　〒

御電話番号

御担当部署　　御担当者

	日本語版		英語版		部数		金額
	価格（消費税別）	刊行日	価格（消費税別）	刊行日			
《定期刊行物》							
＊「月刊電子写真総合情報」 ー電子写真に関する総合的なレポートー（1986 年～） 年間 1,200～1,300 頁	年会費:￥700,000 月会費:￥60,000	毎月 20 日	$7,000 $600	毎月末	日 英	年 月号より ヶ月／年	
i4inkjet　[Directions]（年 6 回発行、年 300 頁～） ※インクジェット関連の特許技術レポート	―	―	￥550,000～	7/27～	英		
《２０２２年刊行予定物》							
＊2022 年版[感光体マーケット総覧] 『基幹部品としての重要度を堅持する感光体市場の展望』	¥500,000	2/25	$5,200	4/下予定	日 英		
＊2022 年版[ローラー系部品マーケット総覧]	¥400,000	4/下予定	$5,000	注文対応	日 英		
＊2022 年版[トナーマーケット総覧]	¥600,000	6/下予定	$6,000	8/下予定	日 英		
＊2022 年版[インクジェット印刷マーケット総覧]	¥500,000	10/下予定	$5,000	12/中予定	日 英		
＊2022 年版[MFP マーケット総覧]（フルレポート） 総合分析編･PPC 市場編／プリンタ・プロダクションプリンタ市場編	¥600,000 各¥350,000	12/下予定	― ―	―			
《２０２１年刊行物》							
＊2021 年版[感光体マーケット総覧]（286 頁） 『戦略転換が求められる感光体業界の試練』	¥500,000	2/25	$5,200	4/26	日 英		
新レポート　＊2021 年版『出力機器関連機材ハンドブック』(282 頁)	¥200,000	3/24	―	―			
＊2021 年版[ローラー系部品マーケット総覧]（630 頁） 『コストと品質が命綱となったローラー系部品業界の未来』	¥400,000	4/22	$5,000	注文対応	日 英		
＊2021 年版[トナーマーケット総覧]（572 頁） 『働き方の多様化で変化が加速するトナー市場の最新動向』	¥600,000	6/25	$6,000	8/24	日 英		
＊2021 年版[インクジェット印刷マーケット総覧]（377 頁） 『新たなイノベーション創出を目指す 産業用インクジェット業界の最新動向』	¥500,000	10/26	$5,000	12/10	日 英		
＊2021 年版[MFP マーケット総覧]（フルレポート）（640 頁） 『業界変革期を迎えた複合機・プリンタ市場の将来性分析』 総合分析編･PPC 市場編／プリンタ・プロダクションプリンタ市場編	¥600,000 各¥350,000	12/22	― ―	―			
《その他の刊行物》							
＊2014 年版[企業便覧シリーズ]（128 頁） 『中国の機能性部品ローカル企業 100 社便覧』	¥150,000	2014 年 9/29	$1,500	2014 年 10/31	日 英		
＊2013 年版[オフィスユーザー調査] 分析編(810 頁)、写真データ(535 頁) 『インドにおける 500 社の複写機・LBP 等の写真付ユーザー実態調査』	¥800,000	2013 年 9/25	―	―			